

# 魅力だより

- ◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第12号
- ◆令和2年12月24日（木）
- ◆最上教育事務所 指導課

## 「魅力ある学校づくり調査研究事業」に係る「各学校の実践紹介#7」

### 戸沢村立戸沢中学校の実践



- 【目標】 「イ みんなで何かをするのは楽しい」の項目について、「当てはまる」の割合を学年目標数値（中1：85%、中2：90%、中3：60%）以上にする。
- 【ねらい】 全校や各学級での様々な活動を通して、より良い人間関係づくりや健全な人間関係の構築を図ること。

#### 活動1 アマビエを用いたメッセージづくり

新型コロナウイルス感染症が拡大しつつあった年度当初、中学3年生ではコロナ禍を“自分のこと”として認識し、どのように行動するかを考えることを目的に、総合的な学習の時間と関連づけて自分たちで村のためにできることについて考えメッセージを発信する。



村の一員であることの自覚化 仲間や地域との関わりの大切さの実感

#### 活動2 児童・生徒会スローガンづくり



小学校1年生から中学校3年生までの全校児童生徒が協力して、戸沢小中学校の児童会・生徒会スローガン看板を制作した。児童生徒と教職員は、一人2枚～4枚のカードに名前や将来の夢などについて記入し、記入済みの1,000枚以上のカードを生徒会役員でのり付けし、看板を制作した。

#### コロナ禍における集団活動の工夫

一人ひとりの児童生徒が達成感・成就感を実感

#### 活動3 『コロナに負けるな』標語コンクール&動画作成

生徒会が中心となり、新型コロナウイルス感染症予防と感染者や濃厚接触者への差別や偏見防止を目的に全校で標語コンクールを実施した。小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒と教職員で作った作品の中から、よりよい標語を生徒たちが選出した。選出した作品は校内に掲示し、表彰した。



また、生徒会執行部が脚本・出演・編集を担当し、SNSでの誹謗中傷や密を避けた新しい生活様式の提案などをまとめた5分間の動画を作成し、学校のホームページで公開した。

生徒会主体の差別・偏見防止を目指した人権教育の実践

#### 活動4 中学校1年生による中学校入学説明会の実施



今年度は小学校6年生への中学校生活についての説明を中学校1年生が行った。中学校1年生が1年前の自分たちを思い浮かべて、小学校6年生に中学生活を送る上での心構えやルールなどについて説明した。説明内容は生徒同士でアイデアを出し合い、アンケートを取ったり動画を作成したりして主体的に取り組んだ。

小6児童の不安解消&中1の先輩としての自覚や意欲の向上

👉 戸沢中の実践から学ぶ 👈

## 児童生徒を支え、生かし、育てる教師の「場づくり」の秀逸さ